

図書館だより

5月号 (令和8年度)

川之石高校図書委員会



ついこのあいだ桜が咲いていたと思っていたら、いつの間にか真夏かと思われるような暑い日が続くようになってきました。

川高図書館を利用する人は昼休みを中心に多く見られますが、本を借りて読むのは特定の人に限定されているようです。時には普段自分が読む本とは違った傾向の本を、川高図書館で借りて読んでみてはどうでしょうか？



【新任の先生より】

「食べるように、本を読む」

久門 美和 校長先生

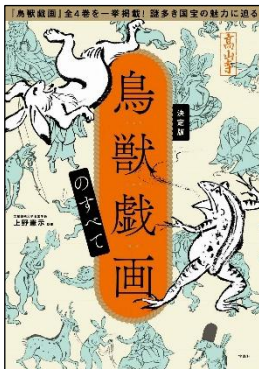


最近、本離れが進んでいると言われています。スマートフォンや動画が身近になり、忙しい毎日の中で、私自身も余裕のある時にしか本を読めていないのが正直なところですが、それでも、時間を見つけて本を開くと、ついつい時間を忘れて読み進めてしまいます。私が読む本は、食べ物や料理が題材になっているものが多く、坂本司さんの『和菓子のアン』シリーズや、柚木麻子さんの『ランチのアッコちゃん』シリーズもその一つです。

『和菓子のアン』シリーズでは、和菓子店を舞台に、主人公が和菓子や店員、お客様、職人との出会いを通して成長していく姿が描かれています。和菓子は季節や相手の気持ちを大切に作られ、その丁寧さから人を思いやる心が伝わってきます。一方、『ランチのアッコちゃん』シリーズでは、食べることを通して働く女性たちが心を休め、自分の生き方を見つめ直していきます。短い食事の時間が、前向きに生きるための支えとなっていく様子が印象的です。また、料理の描写が抜群で、ついつい創作意欲が高まり、ブーケガルニを入れてポトフを作ってしまうなど、自分の料理のスイッチを入れることにもつながりました。

私は、料理の作り方を動画で見るよりも、レシピを読んで想像しながら作ることが好きです。材料や手順を追いつつ、出来上がりの味や食卓の様子を思い浮かべる時間は、とても楽しいものです。この想像する楽しさは読書にも通じると感じています。本もまた、少しずつ味わうことで、心に残る気付きや元気を与えてくれます。読書は、まとまった時間がなくても、食事のように日常の中に自然と取り入れることができます。高校生のみなさんも、短い時間で読む一冊から、食べるように本を読み、本の世界に触れてみてほしいと思います。

〔本の紹介〕



『鳥獣戯画のすべて』（上野 憲示 著）

「鳥獣戯画」という絵巻物を知っていますか？その一部は誰でもどこかで一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。京都市の高山寺に伝わる国宝で、一部の場面には現在の漫画に用いられている効果に似た手法が見られることもあって、「日本最古の漫画」とも称されています。

有名な作品にもかかわらず、「誰が、何のために描いたのか」「何を物語っているのか」など、いまだ多くの謎に包まれた非常にミステリアスな作品なのです。この本は、たくさんのビジュアルとともに、わかりやすく丁寧な解説でその謎に迫る本です。

『それいけ！平安部』（宮島 未奈 著）

「平安時代に興味ない？」

とある地方の高校に入学した新入生の栞は入学式の当日、同じクラスになった平尾安以加から突然、声をかけられる。「平安部」を作りたいというその熱意に押され、栞は部を作るのに必要な5人の部員探しに駆け回る。その結果、なんとか集まったメンバーは個性たっぷり。栞たちは試行錯誤しながら、平安部の活動をスタートさせる。

《平安部員求む！》

わたしたちと一緒に平安の心を学びませんか？



〔4月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

4月13日～4月30日

2-1	2-2	3-1	3-2	合 計
5冊	7冊	18冊	7冊	37冊

〈個人別〉

1位 9冊 吉本 陽向（3-1）

2位 5冊 中川 華穂（2-2）

3位 3冊 菊池 瑛晶（3-1）



今年度の図書委員です。

「今日の読書こそ、真の学問である。」

吉田 松陰（幕末の長州藩士／1830～1859）